

答 辞

草木が芽吹き始め、春の息吹を感じるこの良き日に、私たちは卒業の日を迎えました。本日はご多忙にもかかわらず、多くの皆様にご臨席賜りましたこと、卒業生を代表して感謝申し上げます。

この4年間、地元を離れての一人暮らしや大学生活を支えてくれた両親、楽しい時も辛い時も共に過ごした友人、私たち学生の指導に関わってくださった教職員の皆様、そしてボランティアやアルバイト先で出会った方々、皆様のおかげで実りの多い4年間を過ごすことができました。

振り返れば、教育学部で過ごした日々は決して平坦なものではありませんでした。特に、教育実習では思ったような授業ができず、何度も挫折しました。私の担当教科である技術科では、説明と製作の時間の切り替えの難しさや、目の前の教材に意識が向いてしまう生徒への指導に悩むこともありました。しかし、できなかったことに向き合い、試行錯誤を重ねる中で見せてくれた生徒の笑顔は、実習の疲れを忘れさせてくれるものでした。この経験を通して、教師としてのやりがいを感じるとともに、技術科の面白さを改めて再確認し、技術科の教員になることを決めました。

昨年には教員採用試験に臨み、技術科の専門知識の習得に加え、模擬授業や面接対策にも励みました。その結果、地元と山梨県の双方から合格をいただきました。私は進路について迷った末、教員を志す起点となった山梨に恩返しをしたいという思いから、山梨県で教員として働く道を選びました。これからは教員としての責任と自覚を持ち、子ども一人ひとりに真摯に向き合うことを誓います。

春から私たちはそれぞれの夢に向かって歩き出すこととなります。山梨大学で培った学びを社会に還元し、山梨大学が掲げる「知と技術における地域の中核となると同時に、世界の平和と人類の福祉に貢献できる世界の人材」としてこれからも歩んでまいります。

最後になりますが、未熟な私たちにご指導、ご支援くださった諸先生方、関係者の皆様 に改めて御礼申し上げますとともに、どんな時も最大の味方として支えてくれた家族に心より感謝いたします。山梨大学の更なるご発展と大学関係者の皆様のご健勝・ご活躍をお祈りいたしまして、答辞とさせていただきます。

令和8年3月19日

山梨大学 卒業生代表
教育学部 科学教育コース
門田 智生